

平成29年度 第2回 学校評議員会

○日 時 平成29年12月12日（火） 午後6時00分～

○場 所 千早赤阪村立千早小吹台小学校 校長室

○出席者 学校評議員 矢田節彦・ 上原裕美 ・ 樋口千納
校 長 當麻裕彦
教 頭 春次 秀夫（進行）

○協議された意見の概略

①全国学力学習状況調査結果の考察について

同じ子供たちの経年変化が見られないので単純に比べられないのではないかと。

将来生きる力も含めての学力であり、このテストの点数をあげるための訓練になってはいけない。社会性や大人になって自分で生きてゆける力を育てるという視点が大切。点数に左右されない方がよい。

②地域に開かれた学校の取り組みについて

学校支援地域本部の組織図を提示

- ・この取り組みは素晴らしい。この取り組みへの予算も必要ではないか。
- ・PTA役員全員が立候補であることは、この学校の姿を感じて自ら手をあげたのではないかと。「やさしさと笑顔いっぱいの学校」につながっている。

③防災安全教育について

- ・非常時、鍵を持っている人がそんなときに限っていない時がある。そんなときにどうするのか。門を開けておく、複数の人が鍵を持っておく、など考えた方がよい。

④学校行事について

村の誇りとしての金剛山に登るというこの行事は素晴らしい。

音読発表会で声を出すという行為が大切。声を出すことや動作は「やさしさと笑顔いっぱいの学校」につながる。

⑤本年度の本校の教育内容について

英語教育を研究して実施していると言うことが素晴らしい。今回の本の出版も素晴らしいので、こういうことは宣伝しなければならない。遠慮や控えめな態度はいらぬ。知らしめるということが大切。